

# デジタル時代におけるマスメディアと大学の連携を考察



## 甲南学園は2019年に創立100周年を迎えます

1919年4月21日にその産声をあげた学校法人甲南学園。2年後に控えた創立100周年を前に、新たな時代においても持続的に発展できる大学となるための「甲南新世紀ビジョン」を制定。大学を挙げてその実現を目指します。2016年の白川台キャンパス(神戸市須磨区)開設をはじめ、100周年を記念する事業も複数進行中です。



甲南大学 総合研究所 所長  
胡 金定 教授

ごきんてい ●中国立廈門大学卒業、神戸大学文化科学研究科博士課程単位取得満期退学、文学修士。

胡 金定 教授は、甲南大学総合研究所所長として、デジタル時代の教育とマスメディアの連携についてお考えが、甲南大学の新聞記事で発表されています。以下、その一部をご紹介します。

6月24日、甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区)で「第66回甲南大学総合研究所公開講演会」が開催されました。同大学の長坂悦敬学長、胡金定教授と、朝日新聞社の渡辺雅隆社長が、ICTと大学教育の融合について、またデジタル時代においてマスメディアと大学はどうか連携を図ればよいかなどについて、意見を交換しました。



甲南大学  
長坂 悦敬 学長

ながさか・よしゆき ●大阪大学工学研究科修士課程修了、博士(工学)。甲南大学経営学部長などを経て2014年から現職。

## 大学とメディアの連携で 知の相互啓発が起きる

ごく自然に、しかし確実に  
ICTは大学教育に浸透している

胡 ICT(情報通信技術)がもたらした教育環境の変化や教育方法の改革に対応して、大学ではどのような取り組みをしていますか。

長坂 ICTを様々な形で教育に取り入れるべく、努力を続けています。その方法は、大きく二つに分かれます。一つは「教材コンテンツをデジタルの中で駆使すること。もう一つは「学習支援システムの導入」です。

例えば本学には、外国語教育を行う「国際言語文化センター」があります。授業では、タブレット端末に独自アプリケーションを入れ、複数コンテンツを自由に使える「iCALL(アイコール)教室」を準備しました。これにより、受講者は自分のレベルに合ったリスニング教材を選択して学習ができるなど、様々な効果をもたらしています。デジタルと教材コンテンツを

融合させた取り組みの一例です。一方で今の学生は、パソコンよりもスマホやタブレットを上手に扱います。そんな傾向に対応した学習支援システムが、学内専用でポータルサイト「MY KONAN」です。ひとこと言うならばそれは「学習すべてに関する「入り口」」。学生各自が手持ちの端末でMY KONANにログインすれば、音割の確認はもう不要、動画音声付きの教材まで利用でき、課題や小テストもMY KONAN経由で提出できます。

法科大学院では、岡本と西宮の両キャンパスをネット授業で結び、日々どちらかのキャンパスで行われるライブ授業を、もう一方のキャンパスにネット配信し、学びの機会を均等化に役立てています。理工学部には「Scifinder」という専門的なデータベースが導

入されています。1億を超える化学物質の情報があり、録されており、その情報は新しい化合物の合成の可能性を判断し、合成計画を立てたりすることができ、ICTはごく自然に、しかし確実に、本学の教育に浸透している、そんな印象です。

胡 ICTがもたらした社会を「デジタル知識社会」と呼ぶ学者もいます。朝日新聞として、こうした社会の中でどのように若者「特に大学生」に「知」の関心を持たせ、紙面に反映しているのでしょうか。

渡辺 今の若い人たちは紙の新聞よりも、スマホなどの端末から情報収集をする傾向にあります。そうした傾向にあわせて、紙の新聞とは別に「朝日新聞デジタル」とい

次世代育成、ライブプラン教育に  
大学とメディア一丸となった連携を

胡 21世紀は、大量記憶装置の開発により、インターネット上の検索エンジンを使えば、大学の講義や図書館に行かなくても知識が得られます。「もう大学に行かなくてもいいのでは」という話になりかねない状況です。デジタル時代の大学の役割について、学長はどうかお考えでしょうか。

長坂 今こそ大学は人物教育に立ち返るべきです。本学創立者の平生三郎先生による教育理念「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する」。つまり、自分の個性をどう生かせるかを考え、デザインする力を備えた学生の育成こそが大学の使命です。教育を語る時「魚を与えるのではなく、魚の捕り方を教えるべき」とはよくいわれますが、今の時代、その「捕り方」はひょっとしたらネットでも学べるかもしれません。しかし本学は、魚の捕り方を学生自らに考えさせ、社会で実践し、突破する力を育成する。そんな教育を展開しています。

胡 デジタル時代における大学とマスメディアの連携についてお考えがあれば、渡辺 すでに私たちが過去の新聞記事をデータベース化し、大学の図書館でも利

う形で、デジタルでの情報提供を行っています。コンテンツも、若い人が関心を持つテーマに沿ったものを展開しています。例えば、スマホ世代を意識した「with news」というニュースサイト。「こんなことを知りたいが、ネットで調べても出てこない」という注文を受け、記者が取材に行くスタイルをとっています。また、ネット上に発信した朝日新聞のニュースが、今の瞬間、どういった時代に、どのくらいの関心をもって読まれているかを計測しながら、朝夕刊の編集作業に反映する態勢も整えています。



朝日新聞社代表取締役社長  
渡辺 雅隆

わたなべ・まさたか ●1982年入社。2010年大阪本社編集局長。14年から現職。

### 提携講座

#### 朝日新聞社と提携して初年次教育の充実をはかる

甲南大学では1年次生を対象に、学びの面白さを実感してもらおうと「共通基礎演習」を開講している。全15回のうち2回は、朝日新聞社の記者が「新聞から読み取る現代社会」と題した講義を展開。新聞記事や天声人語を使い、文章表現や資料分析、また小論文の書き方を指導する。履修生からは「ゆくゆくは卒論を書くことになるので、プロから文章の書き方を学べてよかった」の声があがるなど、初年次教育の充実につながっている。

#### 甲南大学総合研究所とは？ 学部・学科の枠を越えた共同研究を推進

総合的・学際的研究を志向する独自の学風を持つ甲南大学。総合研究所は、そうした雰囲気を支える教員たちの強い研究意欲に促されて、1984年5月に設立、発足した。設立の目的は、学部・学科の枠を越えて、複数の研究者が協力する共同研究の活性化。「有限規模の地球における人類の持続的な発展」に関する統合的かつ学際的な研究が進められている。複数の学部所属する教員(学外者含む)が、同一テーマのもと研究チームを編成。2年間にわたって共同研究を行い、その成果を刊行。幅広い分野から講師を招き、今回のような公開講演会も年2回開催している。

# OPEN CAMPUS 2017

8.6日 [10:00 / 16:00] / 10.1日 [10:00 / 16:00]  
※岡本以外は12:00・16:00

【岡本】【西宮】【ポートアイランド】3キャンパスにて同日開催

●大学・学部学科説明会 ●模擬講義 ●入試説明会 ●入試対策講座 ●在学生との座談会 ●甲南生によるキャンパスツアー ●個別相談

スイーツをGet! キャンパス内のスタンプを集めると甲南大学オリジナルスイーツをプレゼントします。 ※スイーツは先着順です。

岡本の街を楽しむ! 当日は岡本商店街特設ブースも出展。耳寄り情報をGetして「岡本」を楽しもう。



多目的オープンスペース「Agora アゴラ」(完成イメージ)

2017年9月 岡本キャンパスに誕生!  
「KONAN INFINITY COMMONS(愛称:iCommons/アイコモンズ)」は、プロジェクトルームやラウンジなど学生の自主学修スペースと、カフェやフィットネスなどの生活設備を兼ね備え、豊かなコミュニケーションを生む多機能施設。10月1日のオープンキャンパスでは、オープン間もないiCommonsを体験できるイベントを実施する予定です。

甲南大学 KONAN UNIVERSITY  
入場 無料 予約 不要 入退場 自由  
詳しくは、受験生のためのサイト「甲南Ch.」へ  
甲南ch 検索 http://ch.konan-u.ac.jp/

お問い合わせ: 甲南大学 入試センター TEL 078-435-2319(直通) E-mail ao@adm.konan-u.ac.jp

100  
100th ANNIVERSARY  
KONAN GAKUIN

# 百世不磨

ひやく せい ぶ ま

永久に消えずに残ること。  
いつまでも消滅しないこと。

## 阪神間に、甲南あり。

2019年4月、学校法人甲南学園は  
創立100周年を迎えます。

甲南大学 甲南高等学校 甲南中学校  
http://www.konan-u.ac.jp